

当金庫の沿革・歩み・立地条件

〈沿革〉

昭和25年 7月19日	北空知信用組合設立
8月1日	業務開始
9月1日	妹背牛支店開設
昭和26年 9月20日	沼田支店開設
昭和27年 2月1日	信用金庫法制定により 北空知信用金庫に改組
昭和30年12月1日	幌加内支店・秩父別支店・ 北竜支店開設
昭和33年12月27日	納内支店開設
昭和36年 9月15日	多度志支店開設
昭和37年10月15日	雨竜支店開設
昭和44年12月5日	旭川支店開設
昭和49年11月18日	滝川支店開設
昭和57年11月4日	西支店開設
昭和59年10月11日	旭川東支店開設
平成10年 8月31日	多度志支店を閉鎖し本店と統合
平成22年 8月2日	札幌支店開設
平成30年 5月7日	雨竜支店移転
令和元年11月5日	沼田支店移転予定



〈歩み〉

当金庫は、昭和25年7月19日北空知信用組合として設立認可を得、昭和25年8月1日業務を開始、昭和27年2月1日北空知信用金庫に改組し現在に至っております。

設立当初の営業区域は、深川町・一已町・納内町・音江町・多度志町・妹背牛町・沼田町・幌加内町・秩父別町・北竜町・雨竜町の北空知地区11町でありましたが、昭和38年5月1日深川市制施行（深川町・一已町・納内町・音江町・4町合併、その後昭和45年4月1日多度志町編入）により1市6町となりました。

地区として昭和40年2月に滝川市を、続いて昭和41年2月に旭川市、さらに昭和45年2月樺戸郡新十津川町、昭和48年4月留萌市、昭和51年6月砂川市及び空知郡奈井江町、昭和58年6月上川郡東川町及び東神楽町、平成5年5月上川郡鷹栖町・比布町・当麻町、平成21年5月札幌市、石狩市、江別市、北広島市、恵庭市を営業区域として認可を得て、10市13町を営業基盤として現在に至っています。

〈立地条件〉

本店の所在する深川市は、北海道中央部石狩平野の北端にあり、総面積529.23km²で東は旭川市、西は滝川市、妹背牛町、秩父別町、沼田町に、南は音江山を挟んで芦別市、赤平市、北は幌加内町、小平町の4市5町と接しております。

北部から南西に雨竜川が流れ、南部には東から西に北海道一の長流石狩川が貫流しており、この両河川を中心に両翼にひろがる平野には、市街地と農耕地帯が形成され、人口20,446人（男子9,536人、女子10,910人）、世帯数10,721戸（平成31年3月末現在）を擁し、水田を中心とした農村地域の都市であります。